



最近、国内外で様々な感染症がニュースで取上げられてきました。そこで今回は、今年日本で流行した『デング熱』や『海外での感染症』についても併せてお話ししたいと思います。



●デング熱とは？

デング熱とは、デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、主な症状として発熱・頭痛・筋肉痛・皮膚の発疹などがあり、2～15日の潜伏期間を経て出現します。これらの症状は、一般的には1週間程度で消失し、後遺症なく回復することが多いです。しかし、一部では重症化することがあり、血漿漏出に伴うショックと出血傾向を主症状とする致死的病態になることもあります。

●どのように感染するの？

デング熱は、デングウイルスに感染した人を蚊が吸血し、蚊の体内でウイルスが増殖後、その蚊が他の人を吸血することで感染します。蚊を介さずに人から人へ直接的に感染することはありません。

デングウイルスを媒介する蚊には、『ネッタイシマカ』と『ヒトスジシマカ』の2種類があり、日本国内では『ヒトスジシマカ』によって感染が媒介されます。この『ヒトスジシマカ』の活動時期は、概ね5月中旬～10月下旬頃で、日中屋外での活動性が高いのが特徴です。

●治療方法は？

デングウイルスの治療薬はなく、痛みや発熱に対し解熱鎮痛薬を使用したり、血漿漏出による循環血液量減少を補うのに輸液を使用するなど、症状を緩和するための対症療法を行います。

●デング熱にかからないためには？

デング熱予防に有効なワクチンはなく、感染原因となる蚊に刺されないための工夫が重要になってきます。

虫除け対策！

◆服装に注意！

蚊に刺されないように、長袖シャツ・長ズボン・帽子などを身に着け、できるだけ皮膚の露出部分を減らすようにしましょう。

◆蚊帳の活用！

宿泊施設の網戸が不十分だったり、エアコンがなかった場合、蚊帳は蚊よけとして最も有効なので活用しましょう。

◆虫除け剤の使用！

屋外への外出や網戸のない建物への滞在の際には、蚊取り線香を焚いたり、虫除け剤を使用するようにしましょう。

●海外で注意すべき感染症は？

海外への渡航先や、渡航先での行動によって、感染する可能性のある感染症は大きく異なります。主な感染経路としては、蚊やマダニ等を媒介した感染症、野生動物等からの感染症、水や食べ物等からの感染症などがあります。

感染経路	感染症	主な症状
蚊やマダニ等を媒介した感染症	マラリア	マラリア原虫を保有した蚊(ハマダラカ)に吸血された際に感染する。症状は、マラリア原虫の種類により異なる。7日以上潜伏期のち、発熱・嘔吐・頭痛等が現われるが、迅速かつ適切に対処しなければ、重症化し死亡する危険性がある。
	ウエストナイル熱 ウエストナイル脳炎 [主にアフリカで発生。]	ウイルスを保有した蚊に吸血された際に感染する。2～14日の潜伏期のち、発熱・関節痛・発疹等が現われ、感染者の一部は脳炎を発症することがある。
動物等からの感染症	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9)	感染した家きん(ニワトリやアヒルなど)やその体液等との濃厚な接触で感染する。1～10日の潜伏期のち、発熱・下痢・呼吸器症状などが現われる。
	エボラ出血熱 [主にアフリカ(中央部～西部)で発生。]	感染した動物の分泌物や排泄物などとの接触や、エボラ出血熱患者との接触で感染する。2～21日の潜伏期のち、発熱・頭痛・吐血などの症状が現われる。
水や食べ物等からの感染症	コレラ	コレラ菌に汚染された水や食料の摂取で感染する。感染後、数時間～5日間の潜伏期のち、米のとぎ汁のような水様便が大量に排泄され、治療を行わないと死亡する危険性がある。
	腸チフス パラチフス	感染者の便や尿に汚染された水や食べ物の摂取で感染する。1～3週間の潜伏期のち、頭痛・全身倦怠感などの症状が現われ、重症化すると腸から出血することがある。

●海外旅行前の対策法は？

海外での滞在期間中、感染症に罹らず安全で快適な旅行ができるように、しっかりとした予防対策を行うようにしましょう。

感染予防のポイント！

- 渡航先の感染症の発生状況に関する情報を事前に入手し、予防接種が受けられる感染症に関しては、事前のワクチン接種を心掛けるようにしましょう。
- 食事の前には必ず石鹸で手を洗い、手洗後はアルコールで消毒をするようにしましょう。
- 生水の飲水、加熱されていない生鮮魚介類や肉類等の摂取は控えるようにしましょう。

感染症によっては、潜伏期間が数日～1週間以上と長いものもあるため、帰国後しばらくして具合が悪くなった場合は、早急に医療機関を受診するようにしましょう。また、帰国後すぐに体調が悪くなった場合は、空港や港に設置されている検疫所へ相談するようにしましょう。

<参考>

厚生労働省：海外で注意すべき感染症についての情報提供(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0425-1.html>)

デング熱に関するQ&A(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html)